

第6回とめ研究所若手研究者懸賞論文 応募申込書

応募日：2025 年 月 日

1. 応募論文

タイトル	
区分 ※いずれかを選択して下さい。	<input type="checkbox"/> 未発表 <input type="checkbox"/> 発表済み、本賞に合わせて再構成
論文内容、応募許可 ※内容を確認の上、チェック欄に ✓を付記して下さい。	<input type="checkbox"/> 論文の内容、応募については、指導教官の了承を得ています。

2. 応募者情報(共著の場合は代表者情報)

氏名 ※氏名間に空白を入力下さい。	
氏名(ふりがな)	
生年月日	
連絡先メールアドレス	
所属	大学
	研究科、専攻
学年 ※課程をチェックの上、 学年を記入下さい。	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 年 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 <input type="checkbox"/> ()
	研究室、指導教官名
	研究室サイト URL

3. 応募にあたっての承諾事項(内容を確認の上、全てのチェック欄に✓を付記して下さい。)

個人情報の取り扱いについて	<input type="checkbox"/> 内容を承諾しました。 ・応募者の個人情報は、審査及び結果連絡等、懸賞論文の遂行に必要な範囲に限り使用します。それ以外の目的で使用することはありません。 ・受賞者の個人情報は、サイト上で氏名、所属、顔写真を公表するとともに、新聞媒体へのプレスリリース、後援団体や大学への結果通知等に使用します。また表彰式の当日に写真撮影を行い、各媒体に掲載することがあります。
応募資格、応募要項、知財権等について ※別紙の実施要項を参照下さい。	<input type="checkbox"/> 実施要項の内容を承諾しました。

4. アンケート(今後の広報活動の参考とさせて頂くためのアンケートです。審査には一切影響しません。)

本懸賞論文をどのように知ったかお教え下さい。	
本懸賞論文の広告で、見たことがあるものをお教え下さい。	<input type="checkbox"/> ポスター 掲示場所 () <input type="checkbox"/> チラシ 入手場所 () <input type="checkbox"/> 学会誌 学会誌名 () <input type="checkbox"/> 学会ML 学会誌名 () <input type="checkbox"/> 新聞 新聞名 () <input type="checkbox"/> その他 ()

(別紙) 実施要項

1 応募資格

- ・ 応募時点で大学院博士前期課程又は後期課程在籍の学生、かつ 35 歳以下。
- ・ 過去の本懸賞論文最優秀賞や優秀賞受賞者はご遠慮下さい。

2 応募要項

① 提出物

- ・ 申込書(サイトからダウンロード)
- ・ 論文 (Microsoft Word 形式 又は Adobe PDF 形式で作成)
- ・ 要旨 (Microsoft Word 形式 又は Adobe PDF 形式で作成)

②論文

- ・ 論文テーマに沿った、人工知能（知能情報処理技術）に関する内容。
応用分野や要素技術は不問。情報科学、物理学、数学、生物学、化学、経済学等の応用分野、
また機械学習・ディープラーニング、データサイエンス、画像処理、検査・計測・ロボット、
自然言語処理、ヒューマンインタフェース、組込み制御等の要素技術のいずれも可。
- ・ 日本語、本文 30,000 字以内（図表を除く）で作成。
- ・ 参考文献、引用文献については、著者名、タイトル、出版社名、刊行年、ページ等の一覧を末尾に記載。
- ・ 未発表、又は内容発表済みでも本賞に合わせて再構成したものも可。
- ・ 大学などでの既提出の卒業論文や修士論文を本テーマに合わせて再構成したものも可。
- ・ 論文の内容、応募については、指導教官の了承を得る。
- ・ 共著の場合、代表者が応募資格を満たしている。
- ・ 応募は 1 人につき 1 編に限る。

② 要旨

- ・ 論文の要旨。
- ・ 日本語、800 字以内で作成。

3 提出方法

- ・ 申込書をサイトからダウンロードし、申込書及び論文と要旨のファイルをメールで ronbunoubo@tome.jp 宛に提出。
- ・ 提出された論文は返却しません。

4 知財権等

- ・ 応募論文の著作権その他の知的財産権は、応募者に帰属します。但し、応募者は株式会社とめ研究所に対し、株式会社とめ研究所の広報活動、業務のため応募論文に関する一切の利用を永続的、取消不能かつ無償で非独占的に許諾するものとします（著作権法第 21 条乃至第 27 条に

記載される権利の実施許諾および特許法第 78 条に記載される実施許諾を含むが、これに限られない)。

また、応募者は上記の利用に関し、著作者人格権を行使しないものとします。

- ・受賞後に受賞論文の内容が学術雑誌等に掲載される場合は、謝辞に受賞した旨記載いただけると幸いです。

5 個人情報の取り扱い

- ・応募者の個人情報は、審査及び結果連絡等、懸賞論文の遂行に必要な範囲に限り使用します。それ以外の目的で使用することはありません。
- ・受賞者の個人情報は、サイト上で氏名、所属、顔写真を公表するとともに、新聞媒体へのプレスリリース、後援団体や大学への結果通知等に使用します。また表彰式の当日に写真撮影を行い、各媒体に掲載することがあります。

以上